

5. 消防庁舎視察調査結果

(1) 庁舎の概要

庁舎の被災状況と現在の様子は、表 4-1～表 4-3 のとおりであった。47 署所について現地調査を行い、供用中のものは 33 署所、現状の署所位置で機能維持が不可能なものは 14 署所であった。なお、表中にある現地未調査の署所の多くは、事前調査等で津波被害がないと思われる署所である。

表 4-1 調査を行った署所と状況（岩手県部分）

消防本部名	所在地	署所名称	状況
久慈広域連合 消防本部	久慈市	消防本部、久慈消防署	供用中
	洋野町	種市分署	供用中
		大野分署	現地未調査
		山形分署	現地未調査
	野田村	野田分署	供用中（一階部は被災）
	普代村	普代分署	供用中
宮古地区広域 行政組合 消防本部	宮古市	消防本部、宮古消防署	供用中
		田老分署	使用不能、仮庁舎(田老総合事務所)移転
	田野畑村	田野畑分署	供用中
	宮古市	新里分署	供用中
		川井分署	供用中
	山田町	山田消防署	供用中（一階部は被災）
	岩泉町	岩泉消防署	供用中
釜石大槌地区 行政事務組合 消防本部	釜石市	消防本部	使用不能、消防本部は仮庁舎(市教育センター)、消防署は市教育センター付近に仮設
		釜石消防署	
		小佐野出張所	供用中
	大槌町	大槌消防署	使用不能、仮設庁舎(大槌町役場内)移転
大船渡地区消防組合 消防本部	大船渡市	消防本部、大船渡消防署	供用中
		三陸分署	供用中
		綾里分遣所	使用不能、仮庁舎(綾姫ホール)移転
	住田町	住田分署	供用中
陸前高田市消防本部	単独	消防本部、消防署	使用不能、仮設庁舎(市立学校給食センター内)移転

表 4-2 調査を行った署所と状況（宮城県部分／その1）

消防本部名	所在地	署所名称	状況
気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部	気仙沼市	消防本部、気仙沼消防署	供用中
		本吉分署	供用中
		唐桑出張所	現地未調査
		南町出張所	気仙沼消防署へ移転
		大島出張所	現地未調査
	南三陸町	南三陸消防署	仮設庁舎（ハイサイトアリーナ内）移転
		歌津出張所	仮設庁舎（ハイサイトアリーナ内）移転
石巻地区広域行政事務組合消防本部	石巻市	消防本部、石巻消防署	供用中
		南分署	供用中
		中央出張所	現地未調査
		湊出張所	供用中（一階部は被災）
		渡波出張所	供用中（一階部は被災）
		河北消防署	供用中
		桃生出張所	現地未調査
		北上出張所	河北消防署へ移転
		河南出張所	現地未調査
		雄勝出張所	仮設庁舎（付近の特別養護老人ホーム敷地内）移転
	牡鹿出張所	仮庁舎（石巻市役所牡鹿総合支所）移転	
	女川町	女川消防署	仮設庁舎（女川町女川浜字大原）移転
東松島市	矢本消防署	供用中	
	鳴瀬出張所	仮庁舎（石巻市役所鳴瀬庁舎）移転	
塩釜地区消防事務組合消防本部	松島町	松島消防署	供用中
	利府町	利府消防署	供用中
	塩竈市	消防本部、塩釜消防署	供用中
	七ヶ浜町	七ヶ浜消防署	供用中
	多賀城市	多賀城消防署	供用中
		西部出張所	供用中
仙台市消防局	単独	消防局	供用中
	宮城野区	宮城野消防署	供用中
		高砂分署	供用中
		岩切出張所	供用中
		鶴谷出張所	供用中
		原町出張所	供用中
名取市消防本部	単独	消防本部 名取市消防署	供用中
		閑上出張所	使用不能
		手倉田出張所	現地未調査
		高館出張所	供用中

表 4-2 調査を行った署所と状況（宮城県部分／その2）

消防本部名	所在地	署所名称	状況
岩沼市消防本部	単独	消防本部 岩沼市消防署	供用中
亶理地区行政事務 組合消防本部	亶理町	消防本部 亶理消防署	供用中
	山元町	山元分署	供用中

表 4-3 調査を行った署所と状況（福島県部分）

消防本部名	所在地	署所名称	状況
相馬地方広域 消防本部	南相馬市	消防本部、南相馬消防署	供用中
		小高分署	供用中
		鹿島分署	供用中
	飯館村	飯館分署	供用中
	相馬市	相馬消防署	供用中
		新地分署	供用中
双葉地方広域 市町村圏組合 消防本部	浪江町	消防本部、浪江消防署	使用不能(原子力災害による)
	葛尾村	葛尾出張所	現地未調査
	富岡町	富岡消防署	使用不能(原子力災害による)
	楢葉町	楢葉分署	供用中、消防本部仮設庁舎を設置
	川内村	川内出張所	現地未調査
いわき市 消防本部	単独	消防本部	供用中
		平消防署	
		四ツ倉分署	供用中(一階部は被災)
		中央台分遣所	現地未調査
		小川分遣所	現地未調査
		川前分遣所	現地未調査
		小名浜消防署	供用中
		江名分遣所	供用中(一階部は被災)
		勿来消防署	供用中
		田人分遣所	現地未調査
		常磐消防署	供用中
		遠野分遣所	現地未調査
		内郷消防署	供用中
三和分遣所	現地未調査		

## (2) 被災庁舎の対応状況

被災した消防庁舎では、現状署所や仮庁舎を設置するなど、次の4つの方法により機能維持を図っていた。災害発生直後はいずれか1つの方法をとっていたが、時間が経つに従い4つの中で別の方法へ遷移していく署所もみられる。また、市町村等が進めるまちづくりと併行して、署所整備の取り組みも進められている。

### ① 現状庁舎を復旧

津波等により現状庁舎が被災しても、応急処置を行い機能維持を図った。例えば、被災を免れた空間、消防団等の車両、受令は携帯消防無線など、状況により様々な活用が見られる。津波被災地にあるため将来的に移転を検討している例がある。

### ② 既存庁舎での機能移転

既存の庁舎が生き残っている場合、そこに庁舎機能を移転し、機能維持を図った。この場合、所属する消防本部の他の消防庁舎へ移転する場合と、消防とは関係のない他の公共施設へ移転する場合が見られる。

### ③ 仮施設での機能維持

近隣にプレハブ等仮施設を設置し、そこを仮庁舎として機能維持を図った。この場合、関係機関との連携、消防の早期復旧を念頭に、他機関と同じ場所に移転している。町村役場や総合支所敷地への設置等、②と③の複合事例も見られる。

### ④ 被災庁舎は休止し、隣接署所でカバー

被災した庁舎の周辺の被害が広範囲に渡っており、普段の消防需要ない場合、被災庁舎は一旦機能を休止し、隣接する署所の消防力により対処することで機能維持を図っている。

(3) 被災庁舎の対応状況（個別）



久慈広域連合消防本部消防本部・久慈消防署

管轄に海岸線を持つ消防本部としては岩手県最北となる。久慈川河口近くにあるが、この署所は津波被害は受けなかった。



久慈広域連合消防本部消防本部・久慈消防署

庁舎前面及び背面に広い敷地を持つ。緊急消防援助隊等応援消防隊もここを経由して野田村に向かった。



久慈広域連合消防本部野田分署

野田村役場に近接しており、海岸から1km程のところにある。津波はこの付近まで押し寄せ、野田分署も1階部分は水没した。



久慈広域連合消防本部野田分署

分署内階段踊り場から1階を見る。壁に貼られたテープの位置まで水面が上がった。



久慈広域連合消防本部譜代分署

譜代分署等は、津波の恐れがあるとき水門・陸閘を閉鎖する役割を担っている。庁舎内には譜代水門の遠隔制御室がある。



譜代水門

海岸から数百mにあり、この内陸側には譜代村中心地が広がる。分署からの遠隔操作等により水門は効果的に働いた。



宮古地区広域行政組合消防本部・宮古消防署

宮古市市街地は津波により被害を受けた。消防本部も市街地にあるが山際にあるため難を逃れた。



宮古地区広域行政組合消防本部・宮古消防署

消防本部庁舎前の敷地は広く、緊急消防援助隊の集結・解散等にも活用された。



宮古地区広域行政組合消防本部 田老分署所在地

田老分署は津波被害により使用不能となった。一帯が被災しており、まちづくりの動向を見ながら建て替え等が検討されている。



宮古地区広域行政組合消防本部 田老分署(仮)

宮古市田老総合事務所に仮分署を構えている。関係機関も入居しており、田老分署事務室及び仮眠室は最上階にある。



宮古地区広域行政組合消防本部 山田消防署

海岸線から数百 m の位置にあり一階が水没した。1階各室の機能を2階に移して業務を継続している。



宮古地区広域行政組合消防本部 山田消防署

震災前は車庫内にあった防火衣等も階段踊り場に移されている。この署所も建て替え等が検討されている。



**釜石大槌地区行政事務組合消防本部・釜石消防署所在地**  
釜石市市街地にあった消防本部・釜石消防署は津波により1階が水没し使用不能となる。既に庁舎は取り壊されている。



**釜石大槌地区行政事務組合消防本部 消防本部(仮)**  
釜石市教育センターの4階に仮の消防本部が置かれている。



**釜石大槌地区行政事務組合消防本部釜石消防署(仮設)**  
釜石市教育センター付近に仮設の釜石消防署は設置されている。車庫は大型テント、事務室等はプレハブを活用している。



**釜石大槌地区行政事務組合消防本部 鶴住居出張所**  
近年整備された署所であるが、津波により2階上まで水没し使用不能となる。



**釜石大槌地区行政事務組合消防本部大槌消防署所在地**  
津波により2階上まで水没し使用不能となる。既に庁舎は取り壊されている。写真左は使用不能となった町役場。



**釜石大槌地区行政事務組合消防本部大槌消防署(仮設)**  
小学校を改修した仮の町役場敷地内に、仮設の大槌消防署を構えている。事務室は車庫背後にあるプレハブを活用している。



大船渡地区消防組合消防本部・大船渡消防署

大船渡市市街地に所在している。庁舎の数百 m のところまで津波が押し寄せたが、標高もあり難を逃れた。



大船渡地区消防組合消防本部・大船渡消防署

庁舎敷地は広くはなく、建物も老朽化が進んでいる。今後は、建て替えが予定されている。



大船渡地区消防組合消防本部綾里分遣所所在地

所属部隊は計画に基づき避難したが、庁舎は津波に被災し使用不能となる。既に庁舎は取り壊され、漁業関連施設が建っている。



大船渡地区消防組合消防本部綾里分遣所(仮)

所在地から 1km 程内陸の高台にある綾里地区コミュニティ施設「綾姫ホール」に仮の分遣所を構えている。



陸前高田市消防本部・陸前高田市消防署所在地

陸前高田市市街地にあった庁舎は津波により屋上まで水没し使用不能となる。



陸前高田市消防本部・陸前高田市消防署(仮設)

計画に基づき市立学校給食センターに避難し、仮設の庁舎を構え業務を行っている。既に新たな消防本部の計画が進んでいる。



石巻地区広域行政事務組合消防本部・石巻消防署

近年建てられた署所であり、石巻市中心市街地北に所在する。津波被害はなく、消防活動の拠点となった。



石巻地区広域行政事務組合消防本部・石巻消防署

駐車場敷地も広く採られており、近くの運動公園と併せて、応援消防力集結場所として十分な広さを持つ。



石巻地区広域行政事務組合消防本部北上出張所所在地

北上川河口付近にあり水没。使用不能となり、震災直後は河北消防署に移転していた。既に庁舎は取り壊されている。



石巻地区広域行政事務組合消防本部雄勝出張所(仮設)

所属部隊は計画に基づき避難したが、庁舎は被災し使用不能となる。仮設の出張所を構え業務を実施している。



石巻地区広域行政事務組合消防本部牡鹿出張所所在地

牡鹿半島先端に近い鮎川浜にある。一階が水没し、使用不能となる。



石巻地区広域行政事務組合消防本部牡鹿出張所(仮)

牡鹿総合支所内に仮の出張所を構え業務を実施している。



**石巻地区広域行政事務組合消防本部鳴瀬出張所所在地**  
 鳴瀬川河口付近にあり1階上まで水没。使用不能となり、直後は鳴瀬総合支所内に移転していた。既に庁舎は取り壊されている。



**石巻地区広域行政事務組合消防本部鳴瀬出張所(仮設)**  
 野蒜小学校敷地内に関係機関と併せて仮の出張所を構え業務を実施している。仮設の出張所は写真一番左にある。



**塩釜地区消防事務組合消防本部**  
 庁舎完成し引き渡し直前に震災が発生した。大きな被害は無かった。



**塩釜地区消防事務組合消防本部 塩釜消防署**  
 消防本部のすぐ前に建っている。津波は車庫前まで押し寄せたが、標高もあり庁舎に被害はなかった。



**塩釜地区消防事務組合消防本部 松島消防署**  
 松島湾につながる河口に面して建っている。津波による被害はなかったが、敷地が地盤沈下し、段差や亀裂が多数発生した。



**塩釜地区消防事務組合消防本部 松島消防署**  
 既に敷地の改修は済んでおり、段差も解消している。車庫と道路の間に水路がある。



仙台市消防局 若林消防署荒浜航空分署所在地

海岸に面しているため、津波危険を考慮し盛土して整備されているが、1階部分が水没する被害を受け、使用不能となる。



仙台市消防局 若林消防署荒浜航空分署所在地

消防局へりは難を逃れており、現在は仙台空港に仮の施設を構えて業務を継続している。今後の施設整備について検討されている。



名取市消防本部・名取市消防署

名取市市街地に所在しており、津波の被害は無かった。災害時には緊急消防援助隊を含め消防活動の拠点となった。



名取市消防本部 関上出張所所在地

名取市関上地区は一帯が被災した。この地区の中心に所在するこの署所も1階が被災し使用不能となる。



岩沼市消防本部・岩沼市消防署

岩沼市の中心部にあり国道4号線に面している。近年建てられた庁舎は津波被害はなく、地震による被害も軽微だった。



岩沼市消防本部・岩沼市消防署

岩沼市と名取市の境界には仙台空港がある。また、津波被災地域は水がなかなか引かない場所があった。



**亘理地区行政事務組合消防本部消防本部・亘理消防署**  
 亘理町の中心部にあり国道6号線に面している。津波による被害は無く、災害時は緊急消防援助隊を含め消防活動の拠点となった。



**亘理地区行政事務組合消防本部消防本部・亘理消防署**  
 消防本部は阿武隈川河口南岸から福島県境まで長い海岸線を管轄に持ち、沿岸一帯が被災した。



**集積に伴う瓦礫の山**  
 震災に伴う瓦礫は膨大で、多くは海岸部に集められた。蓄熱による火災が発生し、様々な対策がとられた。写真中央左に散水車移っており規模がわかる。



**瓦礫の焼却処理施設**  
 瓦礫は分別されると共に、このために建設された焼却処理施設等で処分されており、徐々に量を減らしている。



**被災市街地の様子(陸前高田市)**  
 被災地では市街地一帯が津波に被災しているところが少なくない。各地でまちづくりマスタープランが検討・作成されている。



**被災市街地の様子(名取市)**  
 被災した消防庁舎の再建等、消防本部の抱える課題はあるが、まちづくりと併行して進めることが求められている。



相馬地方広域消防本部・南相馬消防署

南相馬市の市街地中心部にある。津波被害は無く、地震による被害も軽微だったが、原子力災害の影響を受けた。



相馬地方広域消防本部・南相馬消防署

前には広い敷地を有している。庁舎は老朽化から建て替えが計画されている。



相馬地方広域消防本部小高分署

南相馬市小高地区に所在、同消防本部で最も福島第一原子力発電所に近い。20km 圏にあり原子力災害のため使用不能となる。



相馬地方広域消防本部小高分署

原子力災害の地域見直しに伴い、付近は H24 年 4 月より避難指示解除準備区域となる。これにより消防業務が再開された。



相馬地方広域消防本部飯舘分署

飯舘村中心部にある。飯舘村全域が計画的避難区域にあたるが、消防業務は継続されている。



相馬地方広域消防本部相馬消防署

相馬市の市街地からやや郊外部にある。近年建てられた庁舎は津波被害は無く、地震による被害も軽微だった。



**双葉地方広域市町村圏組合消防本部・浪江消防署所在地**  
 消防署所では最も福島第一原子力発電所に近い。地震被害と原子力災害のため使用不能となり、消防本部機能を移転している。



**双葉地方広域市町村圏組合消防本部 消防本部(仮)**  
 仮の消防本部は、当初は所属の川内出張所等に設置し、H24年度からJ ヴィレッジ内にある柵荘内に移した。



**双葉地方広域市町村圏組合消防本部 柵葉分署**  
 福島第一原子力発電所 20km 圏にあり、避難区域指定を受け使用不能となったが、H23年4月の指定見直しで業務を再開した。



**双葉地方広域市町村圏組合消防本部 柵葉分署**  
 敷地は広く、仮設車庫には避難した所属車両も置かれている。右の建築物は仮の消防本部であり、H24年9月から機能移転した。



**双葉地方広域市町村圏組合消防本部 富岡消防署所在地**  
 消防本部・浪江署と同様、福島第一原子力発電所に近い。地震被害と原子力災害のため使用不能となる。



**双葉地方広域市町村圏組合消防本部 被災市街地の様子**  
 双葉町、大熊町及び富岡町の全域、浪江町、柵葉町の一部は原子力災害で最も制限が厳しい警戒区域にあたる。発見の遅れ等から、延焼火災が危惧されており、様々な対策が採られている。



**いわき市消防本部・平消防署**

いわき市の中心市街地にある。津波被害は無く、地震による被害も段差など軽微だった。



**いわき市消防本部 常磐消防署**

内陸にあり津波被害は無いが、埋め立てた造成地のためライフライン等地盤に被害が出た。



**いわき市消防本部 四倉分署**

一階が水没したが、すぐに復旧し機能を回復、業務を継続している。



**いわき市消防本部 四倉分署付近**

署所は国道6号線を隔てて砂浜の海岸線が広がる。



**いわき市消防本部 江名分遣所**

一階が水没し、しばらくの間は使用不能となった。現在は復旧され機能を回復、業務を継続している。



**いわき市消防本部 江名分遣所付近**

署所は江名港に面している。港は小さなリアス式のような入り江の形状をしており、奥部にある署所や集落が被害を受けた。